

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		武蔵野市子ども協会							
事業部	①	指標名	市内利用者数の増加を図る			目標値	(吉) 33.7人 (は) 71.9人	実績値	(吉) 29.0人 (は) 66.7人
		過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	(吉) 86.1% (は) 92.8%	達成状況	未実施・未達成・達成
		(単位: )	(吉) 30.1人 (は) 65.6人	(吉) 32.7人 (は) 67.0人	(吉) 32.9人 (は) 70.5人				
		取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ひろば事業 ・親のニーズについて話し合いを行うなど、親に対する理解を深め、それに合った事業内容を検討しながら、事業をすすめた。 ・常に事業全体のバランスを考慮し、ひろばで利用者と関わる時間を多く確保した。 ②つどい事業 ・平成18年度より新たに年齢別ひろばを実施し、0歳児については特に多くの参加を得た。 ③地域交流事業 ・子ども家庭課事業のコミセン親子ひろばに出張し、親子の支援にあたった。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 学識経験者や子育て施策の専門家で構成された企画委員会を開催し、事業について指導、助言を受ける等して上記のように取り組んだが、目標を達成できなかった。利用者数が伸びなかった要因について、両施設のスタッフによる調査・検討を行なったが、明確な要因は掴めなかった。今後は、少人数で集えるような機会を作り、親同士の情報交換が活発に行われるように支援する等の情報提供事業を充実させて利用者数の増加を図る。							
	二次評価	●市内利用者数の増加を図るという指標で、一日平均の利用者数を目標値に設定している。18年度は前年度よりも一日平均の利用者数をアップさせるといった目標を設定していたが、0123吉祥寺、0123はらっぱともに前年度の利用者数を下回り、目標を達成できなかった。 ●施設ごとの市外利用者を含めた総利用者数を見ても、0123吉祥寺(18年度14,810人、17年度15,707人)、0123はらっぱ(18年度26,217人、17年度27,447人)ともに減少しており、この傾向が続くようだとしっかりと原因を分析しておく必要がある。							
財務部	②	指標名	管理経費の削減を図る			目標値	管理運営費のうち一般管理費を14,500千円以下とする	実績値	14,951千円
		過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・達成
		(単位: )	14,534	15,339	14,716				
		取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・一般運営費の委託料・使用料等、経費の削減につながる経常経費の見直しの検討。 ・市内・市外利用者との差別化を図るために現行、市外利用者には入館者カードを150円徴収し、発行しているが、その入館者カードを10,000枚作成したため消耗品費の増額。 ・委託料については、ホームページのリニューアルが完了したこと及び冷暖房機の保守点検委託業者を変更したことにより減額。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・対17年度比較では消耗品費が入館者カードの作成により増加したが、委託料は冷暖房機点検の委託業者変更により減額した。経営努力をしたが、目標を達成できなかった。 ・今後も経費の縮減に努め経営を安定化し、施設の運営・管理を継続的、安定的に行うよう努力する。							
	二次評価	●管理経費の削減を図るために、委託料等の削減を行ったが、当初設定した目標を達成できなかった。 ●小さな組織であり、管理している施設が2か所に分かれているなど、経営的に厳しい状況ではあるが、毎年、経費の縮減の努力を続けていることは評価できる。 ●指定管理者となっていることもあり、今後、民間との競争を見据えてさらに経営努力を続けてほしい。							
人事部	③	指標名	スタッフの人材育成			目標値	スタッフの意識の向上	実績値	
		過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・達成
		(単位: )							
		取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①学識経験者や子育て施策の専門家で構成された企画委員会を開催し、専門分野からの助言を受けた。 ②児童対策事業担当者情報交換会に参加し、情報交流を図り、スタッフの視野を広げた。 ③ひろば事業で積極的に利用者に関わり、利用者に対する理解を深める。 ④ケース会議などを通してスタッフ間の共通認識を持ったり、意識の向上を図る。 ⑤アンケート調査を通して利用者ニーズを知ると共に、スタッフの役割について検討する。 ⑥講演会や研修会に参加し、知識や技術を身につける。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 運営組織としての能力を高めるためには、スタッフの能力向上がきわめて重要であり、そのために、職員研修、他施設への視察、他機関職員との情報交換などを積極的に行う。また、理事、企画委員の専門知識や経験をより一層活用するとともに、武蔵野市職員も講師として活用し、スタッフの意識、能力の充実を図るとともに、さらに一層のスタッフの意識の向上を図る。							
	二次評価	●スタッフの意識の向上を目標に設定し、様々な取組を行っているが、目標値が数値化されていないため、達成状況等の評価が困難である。 ●どのような状態をもって意識が向上したといえるのか。その状態を目標とすべきで、研修回数目標値に設定するなど、工夫する必要がある。 ●職員の人材育成はしっかりとした目標を定め、計画的に行っていかなければならない。							